



大阪対がん協会報

2016年12月号

公益財団法人 大阪対がん協会

〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞社内
(中之島フェスティバルタワー 15階)

TEL 06-6201-8029 FAX 06-6201-8615

E-mail : office@osakacancer.jp HP : http://www.osakacancer.jp

—— 第57回 ——

がん研究助成奨励金

2017年2月選考委員会で表彰者決定 / 3月贈呈式

受賞15件に各30万円贈呈

大阪対がん協会は公益目的事業の一つであるがん研究助成奨励金事業を今年も継続して実施いたします。がん研究助成奨励金は、がんの予防と治療等に役立つ研究や取り組みに従事している若手の個人やグループを助成・奨励するもので、今回で57回目になります。11月下旬から研究成果の応募を受け付け、選考委員による採点后、2月中旬の選考委員会で表彰者を決定し、3月上旬に贈呈式を開催します。

応募は大阪府下の大学医学部、歯学部、薬学部、看護学部、研究機関、がん診療拠点病院など約130カ所から受け付け、募集要項などの詳細はホームページにも公表しています。「基礎」「臨床」「疫学」「看護等」の4分野で合計15件を上限として表彰し、奨励金としてそれぞれに30万円を贈呈いたします。

採点をお願いする選考委員は、専門分野別に「基礎」5人、「臨床および疫学」5人、「看護等」3人の13人の方に委嘱しました。選考委員長は松浦成昭会長（大阪府立成人病センター総長）が務めます。

………… 「平成28年度選考委員」 (敬称略) ……………

【基礎】

大道正英 (大阪医科大学医学部教授)
金田安史 (大阪大学大学院医学系研究科教授)
辻本賀英 (大阪府立成人病センター研究所所長)
螺良愛郎 (関西医科大学医学部教授)
森 誠司 (森ノ宮医療大学保健医療学部教授)

河田則文 (大阪市立大学大学院医学研究科教授)
河原邦光 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター医務局長)
宮代 勲 (大阪府立成人病センターがん予防情報センター企画調査課課長)

【看護等】

【臨床および疫学】

今岡真義 (NTT西日本大阪病院総長)
奥野清隆 (近畿大学医学部主任教授)

荒尾晴恵 (大阪大学大学院医学系研究科教授)
今中基晴 (大阪市立大学大学院看護学研究科教授)
田中京子 (大阪府立大学看護学部教授)

秋の啓発イベント

「大阪対がん協会セミナー（第1回）」

9月4日(日)大阪市北区の朝日新聞アサコムホールで約160人の参加者を集め開催されました。第1部は玉木康博氏(大阪府立成人病センター副院長)が乳がんについて基調講演。続いて、当協会が主催する平成27年度がん研究助成奨励金受賞者の2名(嘉戸怜子氏・四方文子氏)が受賞テーマをもとに講演。第2部のシンポジウムでは「若い時から乳がんを識ろう」～乳がんの見つけ方と治し方～をテーマに「患者」、「医師」、「看護師」のシンポジストが出演し、複数の立場からがんに対する情報を提供することが出来ました。学生の方の参加も多くあり、様々な質問が出ました。また、参加者にマンモグラフィ無料クーポン券をお渡しすることができ、有意義なセミナーになりました。



豊田理事の司会で進められたシンポジウム

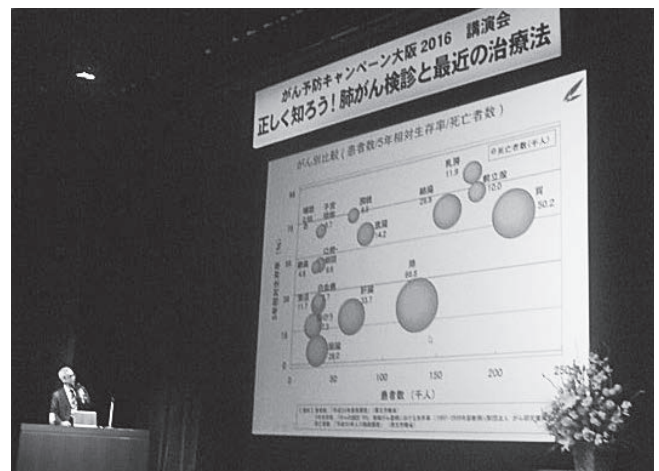
「第73回 成人病公開講座」

今回で第73回を迎え、9月13日(火)に大阪府立成人病センターで開催されました。今回のテーマは「泌尿器がん治療における最近の進歩」。講師3人の演題は「腎がん、前立腺がんに対するロボット手術」、「腎がんに対する薬物治療」、「前立腺がんに対する薬物治療」でした。会場は成人病センターの本館の大講堂ですが、毎回ほぼ満席の人気講座で、年4回、無料で開催されています。一度ご参加はいかがでしょうか。

お問い合わせ先：(公財)大阪成人病予防協会(06-6976-2071)

「がん予防キャンペーン大阪2016講演会」

がん予防キャンペーン大阪実行委員会が主催する講演会で、10月1日(土)大阪市中央区のドーンセンターで開催され、約250人の参加がありました。「正しく知ろう! 肺がん検診と最近の治療法」をテーマに開催され、2人の専門医の講演(「肺がんで命を失わないために—予防と検診—」、「最近の肺がん治療—その進歩と今後の改題—)と総合討論(司会:田中大阪がん循環器病予防センター所長)が行われました。当協会は実行委員会を主催する大阪府、大阪市などの11団体に所属しています。



がん予防キャンペーン大阪2016 講演会

講演会・イベント開催予定

□大阪対がん協会セミナー（第2回）

日時：平成29年1月21日(土)・14時

場所：朝日新聞アサコムホール

テーマ：「もうひとつの人生を拓く」

～在宅医療について考える～

講演：長尾和宏氏(裕和会理事長、長尾クリニック院長)
古谷 緑氏(平成26年度がん研究助成奨励金受賞者)

□遺贈セミナー

日時：平成29年3月17日(金)・13時

場所：阪急ターミナルスクエア17

テーマ：「がんと人間はどう向き合うか(仮)」

講演：垣添忠生氏(日本対がん協会会長)

三井住友信託銀行財務コンサルタント
(相続・遺贈についての講演)

協会からのお知らせ (平成29年度以降はがん検診サービス券の発行を中止いたします)

厳しい財政状況のもと、限られた資金の配分を見直した結果、がん検診の受診促進のために平成23年度から会員の皆様に発行をしていましたががん検診サービス券を来年度から中止させていただくことになりました。

今後は大阪対がん協会セミナーの開催を1回から2回に増やすなど、がんの知識・予防等の普及啓発事業(公1事業)の強化のため、がん征圧事業をより有効に展開していく考えです。どうか、ご理解をいただきますようお願いいたします。(平成28年度のサービス券は平成29年3月31日までご利用いただけます)

がん 5年生存率とサバイバー 5年生存率

かつてがんは「不治の病」と恐れられ、イメージの悪い病気でした。しかし、がんの治療成績は徐々に、しかし着実に改善してきており、最近では多くの方ががんを克服して元気に過ごされるようになっていきます。がんになってどれくらい治るかを表す数字として5年生存率（5生率）がよく用いられますが、これは患者さんががんと分かってから5年後にどれくらい生存しているかの割合を示しています。今年の7月に国立がん研究センターから発表された最新データでは、がん全体としての5生率は62.1%（女性66.0%、男性59.1%）で、とうとう6割を超えました。これは2006-08年の時点のデータですので、10年経過した現在はさらに良くなっていると考えられます（5年以上たたないと正確な数字が出せないで、現在のデータはまだありません）。我が国で最も精度が高く、長い歴史を持つ大阪府がん登録のデータを見ると1975-77年ではがん全体の5年生存率は30.7%でしたから、著明な改善を示しています。ただ、がんの治療成績を示す5生率もどの部位のがんになったか、またどれくらい進行しているかによって全く異なります。

図1に示すように最も良い男性の前立腺がん（97.5%）から最も悪い女性の膵がん（7.5%）まで、部位によって非常に異なっていることがわかります。また、それぞれのがんで進行度が異なりますので、平均値を表したこのデータは大変大雑把なものです。

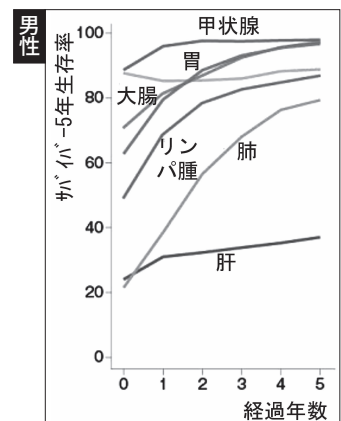
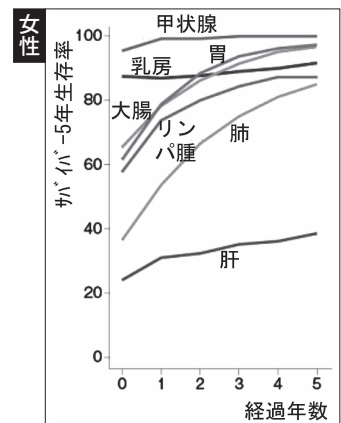
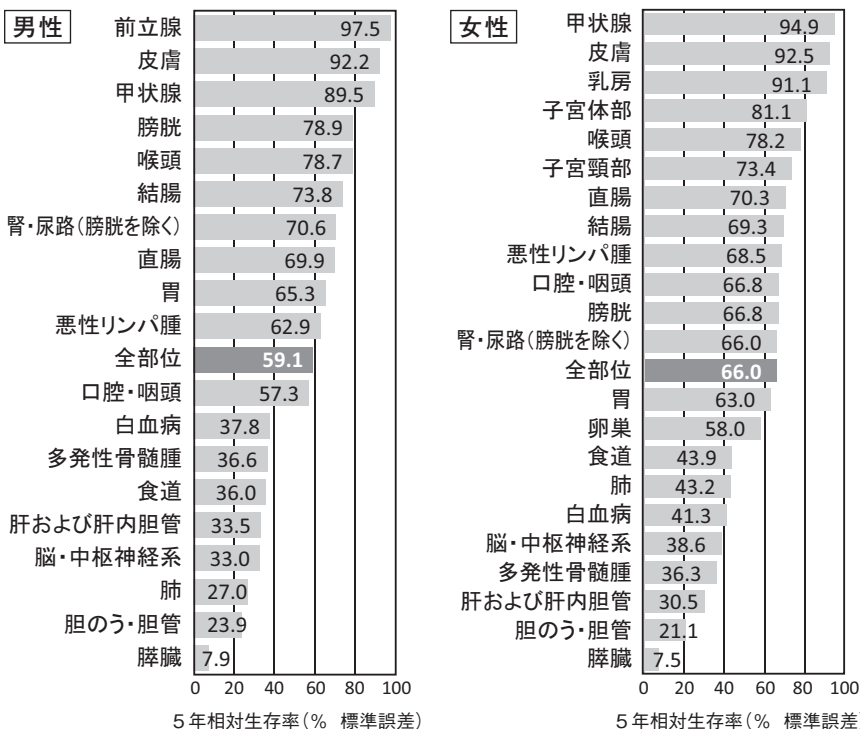
5生率はがんと分かった時点のデータですので、治療をして何年かたつとどれくらいの生存率になるのか知りたい人のために、サバイバー5年生存率というのがあります（図2）。これは一定の年数が経過した時点での5生率を示したもので、年数が経過すると生存率が着実に増加し、多くのがんでは5年たつと100%に近づいていることがわかります（肝がんだけは5年たつても油断できません）。がんの患者さんが治療の後、年数が経過するごとに数字が上昇して行きますので、治る方向に行っているという希望を実感できる指標として使われています。

（会長 松浦 成昭）

図1. 部位別5年相対生存率

図2. サバイバー5年生存率

5年相対生存率(2006-2008年診断症例、全部位)、男女計(全部位)62.1%



来春のがん検診 4月・5月に実施

2月13日(月)から受け付け

- 検診機関 大阪がん循環器病予防センター
〒536-8588 大阪市城東区森之宮1丁目6-107
- 検診期間 4月3日(月)から5月31日(水)まで
- 申込期間 2月13日(月)から3月10日(金)まで

検診項目

胃

X線デジタル撮影 16方向 (7,959円)

検査を受ける方は、前夜の夕食を午後10時までにおとりください

お水・お茶は就寝前までかまいません

検査当日は、午前7時までにコップ1杯程度の水(約200ml)を飲んでください

また、朝から禁煙してください

肺

X線デジタル撮影 (3,229円) 喀痰細胞診 (3,121円)

胸部ヘリカルCT (8,953円)

※胸部ヘルカリCT:従来の胸部X線撮影では発見されにくい小さな病変を発見できます

乳腺

視触診+マンモグラフィー (5,345円)

※マンモグラフィー:内外斜位方向撮影や頭尾方向撮影を用いるので、視触診ではわからない早期がんの発見に役立ちます

子宮

子宮がんを主とする細胞診

頸部 (5,227円) 頸部+体部 (8,229円)

大腸

免疫学的便潜血検査 (1,371円)

申し込み受付後、採便キットを郵送させていただきますので、採便後、大阪がん循環器病予防センターまでお持ちください

※前立腺がんの検査もできます(3,024円)同時に申し込んでください

検診のお申し込みは 電話で

2月13日(月)からの受付を厳守してください

大阪がん循環器病予防センター(予約センター)

電話 **06-6969-6712**

受付曜日:月曜日~金曜日(祝日を除く)

受付時間:10時~12時 13時~16時

※「大阪対がん協会のがん検診希望」といってお申し込みください
受診票は後日、ご自宅に届きます